

Handsome

June 2014 No.307

実
行
力
「人こそが最大の財産」
Positive Forward
自ら進んで一歩を踏み出す

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳
◆編集責任者/担当 副会長 福庭貴志 ◆制作・編集 第39期広報委員会/委員長 生田育永

5月例会開催！テーマ『自主・自立のススメ』

平成26年5月15日(木)、米子全日空ホテルにおいて政治行政委員会が担当する5月例会が開催されました。

初めに、渡辺会長より、「例会の会長挨拶も、毎回、何を話そうか考えてきましたが、あと今月と来月の2回になりました。」と前置きの挨拶がありました。そして、「数日前の日本海新聞の記事で目を引いたところがあり、今後30年すると20代～40代の働く女性の人口が大幅に減り、場合によっては消滅する地方自治体もある。人口減少と都市部への人口流出のなかで、我々が自分のできることは何か、今日の5月例会にもヒントが隠されていると思う。」とお話がありました。

続いて、新入会員のバッチ授与式が行われましたが、今回の新入会員は、この記事を書いている私(橋本)自身でありました。壇上に上がると、会員の皆様の熱いまなざしが私一人に降り注ぎ、非常に緊張しました。何とか言葉を振り絞り、「中央会の活動に積極的に参加し、当会の発展の為、また自分自身の成長の為に一生懸命頑張っていきたい」と挨拶させて頂きました。

次に、トライアスロンタイムでは、牧田実行委員長と石原AS部長から、「ご家族を含め、全員参加で思い出に残る34回大会にしたい」との決意表明がありました。

そして、千石委員長から、今回の例会の「自主自立のすすめ」について、自分で出来ることは自分で行い、それが不可能な時に初めて、家族、行政、コミュニティーの援助を受けるべきであり、指揮者のいないオーケストラのような自主自立を目指すことが望ましく、具体的な事例について政治行政委員会の会員によって発表を致しますので、真剣に考えながらご覧頂き、今後の

中央会活動に生かして頂きたい、との趣旨説明がありました。



まず、事例1の「県立病院をめぐる問題に立ち上がった主婦たち」については、小児科不足で悩んだ主婦たちが、今の自分達に出来ることは何かを考え行動していく内容でありました。まず自分達に出来ることは、署名運動を行い、行政を動かす、それでも駄目ならコンビニ受診を控える為、自分達で医療の勉強をし、簡単な冊子を発行し小児科医の負担を軽減させるというように、主婦自らが考え行動し市民の意識を変えていく姿は共感を抱きました。



次に、事例2の「小さな離島の町での挑戦」については、日本海に浮かぶ隠岐諸島・島前、海士町の事例でありました。住民が変われば島が変わる、島が生き残る術を本

気で考え、町長の強いリーダーシップおよび町役場、そして島民が一体となって、V字回復に導いたというお話でありました。1人で出来ること、10人で出来ること、さらには100人、1000人と出来ることは様々あり、一人ひとり自分に出来ることがないか自ら考え動くことの重要性を認識させられました。



最後に、事例3の「スポーツイベント継続にかけた思い」については、毎年、伯耆町で開催され、平成25年8月で19回目となる「ジュニアことオールジャパンジュニアトライアスロンの生い立ちとそれを成功に導いた当青年中央会と行政との官民相互補完の事例でありました。

今回の例会は、新入会員である私にとって初めての例会でありましたが、バッチ授与の件もあり、例会の準備から見させていただきました。政治行政委員会の発表内容はもちろんのこと、例会を成功させようとするみんなが団結し、入念なりハーサルを繰り返していた姿が印象的であり、非常に気の引き締まる例会であり、中央会に入会できたことを感謝すると共に自分もこれから先輩会員のようになっていきたいと決意した例会となりました。

(記事:橋本)

例会を終えて… 政治行政委員会 委員長 千石 正信



今回の例会は、昨年度の道州制問題検討委員会と今年度の政治行政委員会の活動の集大成という意味合いで行いました。この例会を迎えるにあたり、取材・画像の編集・プレゼン内容等、形になるまで多くの知恵と時間と労力を必要としましたが、伝えるべき内容を会員の皆様にしっかりと伝えるべく、妥協は一切せずしっかり準備しました。

また委員会メンバーもその事を理解し、疲労がたまっているにも関わらず、何度も修正を加えながら最後まで協力して頂きました。当日は3名の発表者・司会者・趣旨説明を行う委員長・総括を行う副会長が話す内容が1つの線にしっかり繋がっており、非常に完成度が高い素晴らしい例会が出来たと思います。委員会メンバーに感謝以外に何も申し上げる事はありません。

また、懇親会も沢山の会員に参加して頂き、中央会歴16年・今期卒会予定の後藤公平会員の見事な司会によりメリハリのある非常に楽しい懇親会になりました。ありがとうございました。

鳥取県西部青年中央会 創立40周年記念ゴルフコンペ開催



平成26年5月17日(土)大山グリーンパークゴルフ倶楽部に於いて鳥取県西部青年中央会創立40周年記念ゴルフコンペが開催されました。



雲一つ無い快晴の爽やかな青空の下、壮大な大山をバックにOB会員、他団体の皆

様、現役会員の総勢118名ものプレーヤーが春のゴルフを楽しみました。

午前8時5分、渡辺会長の始球式を皮切りにアウト・インから合計30組が順次スタートしました。福田一哉OBの球があわやホールインワンになるなど、それぞれのグループが親睦を深めつつゴルフを満喫されました。



続いて、同日の夕方6時半からサンルート米子に場所を移し、ゴルフコンペの表彰式を兼ねた懇親会が盛大に開催されました。懇親会も非常に多くの方に参加していただき、宇佐美OB会長のユーモアの散りばめられたご挨拶の後、乾杯の音頭をいただき懇親会がスタート。表彰式では竹ノ内会員による順位発表が行われ、3位一小川

OB、準優勝-阿部OB、栄えある優勝は鷺澤OBでした。



今回、先輩方の実力をありありと見せ付けられる結果となりましたが、豪華商品がほぼ半数の方に渡るなど他団体の方、現役会員とともにとても有意義な大会でした。

最後に福田OBの締めめの挨拶、一丁締めとともに盛大に開催されたゴルフコンペが閉幕しました。

40周年記念事業もゴルフコンペを皮切りに市川海老蔵の特別公演、野村克也元監督の基調公演とまだまだ事業が残っていますが、周年事業を大成功に導くために会員全員が一致団結して頑張っていきましょう。

(記事:足立匡)

40周年記念事業委員会

いよいよ40周年記念事業を実行する日が近くなってまいりました。その日に向けて、我々制作部の活動もいよいよ本格的となり、各部員にも熱が入ってきています。

制作部の活動で具体的なものとしては、記念式典で上映するこの事業を総括した映像の作成と、40周年を記念した記念誌の作成になります。

全く白紙の状態から、何度も打ち合わせを重ね、皆で作業を手分けして、少しずつ形になってきつつある状況ですが、これもひとえに部員全員のこの事業に懸ける熱すぎる情熱と、それを何とか助けたいと思う、他の企画運営部・財務部・提言部・広報データ管理部のメンバーの力があってこそだと思います。

必ずや、この事業を成し遂げ、渡辺会長、松田実行委員長を中心とした西部青年中央会全員の「やったった感」を心にバシバシ感じたいと思います。

申し遅れました、部長の後藤太良でした。

(〇〇部長 後藤太良)

～卒会者から君たちへ～

森脇哲雄 会員



いよいよ卒会、振り返ってみると本当にあっという間の13年でした。

入会当初、32歳だった私には卒会される先輩方が随分と大人に見えていましたが、今の自分はどうだろうと考えると少々不安になります。

初めは言われた事をこなすだけの立場から、なすべき事を自ら考え率先して行動する立場になり、最終的には全体の方向性を見極め指示を出し先導していく立場になる。

これが人としての成長であると思っていますし、そのスピードを早めるのは個人の意識だと私は思っています。

皆さんも今の自分に置き換えて考えてみてください。そして意識を変える努力をしてみてください。それは会社に戻っても決して無駄になる事はないと思いますし、何よりそのトレーニングの場として中央会の活動は最適だと思いますから。

最後になりますが、会の活動を通じて関わりあったすべての方々に感謝を申し上げ現役最後のメッセージとさせていただきます。本当に有難うございました。



トライアスロン各部長挨拶



マラソン部長
今川 圭一

マラソン部

第34回全日本トライアスロン皆生大会マラソン部長を拝命致しました今川でございます。中央会に入会させて頂き8年になりますが、トライアスロン活動はマラソン部畑でやって参りました。昨年の松田直前部長より突然のご指名を頂き、毎年現場作業を中心に行っていたので、正直、右も左もわからずプレッシャーを感じています。私の中でのトライアスロン活動とは、歴代の部長並びに諸先輩方の運営・取り組みのおかげで、「苦しい中にも楽しい活動」だと考えております。牧田実行委員長を中心に、高野ボランティア部長、石原AS部長と前年度以上の協力態勢で取り組み、ALL中央会で第34回全日本トライアスロン皆生大会を成功させることを切に願ひ、部長挨拶とさせていただきます。

皆様、ご協力宜しくお願い致します！みんなで楽しみながら活動していきましょう！



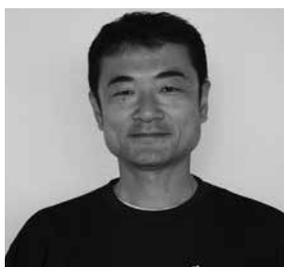
ボランティア部長
高野 真二

ボランティア部

いよいよ今年も暑い(熱い)この時期がやってきました。

中央会に入会して以来、皆生大会のボランティアに参加するようになりました。

がんばっている選手、心温まる声援を送るボランティアさんの姿に毎年感動し、気が付けば10年目になります。今年も選手のみなさんには安全に、そして気持ちよく競技していただけるようにボランティア部も団結してがんばります。大会終了後には一人でも多くの選手・ボランティアさんに「また来年も来るからね!」と言っていたいただけるような大会に出来るようオール中央会でがんばりましょう!



AS部長
石原 効

AS部

この度、鳥取県西部中小企業青年中央会AS部長をさせていただきます、石原効です。山内直前部長から依頼を受け、自分自身への挑戦だ!と思い、戸惑うことなく、「はい」の二つ返事をしました。受けさせていただいたものの、不安が先走ってしまい、昨年度の資料を読み返しそして、記憶を思い返ししながら牧田実行委員長、盛政専務理事、山内直前部長、本田副部长、森下副部长、山口副部长からアドバイスをいただき、準備を進めています。

今後もボランティア部、マラソン部と協力し合い団結して、第34回全日本トライアスロン皆生大会を成功させたいと思います。

当日は酷暑になると思いますので、体調には十分注意していただき、一人でも多くの会員に参加してもらいたいです。そしてトライアスロンを楽しんで、ひと夏の良き思い出を作っていただければと思います。

OB訪問 探偵! TSCスクープ

高下士良OB (第21期卒)を訪ねて



今月は、第21期卒会の(株)エッグ 代表取締役 高下士良OBを訪問しました。

はじめに、ご入会当時のお話をお聞きました。

「入会してすぐに総務委員会副委員長、翌年は総務委員会委員長、その後も金融委員会副委員長と苦手な分野の事はばかりで大変だった。そんな中でも、当時会長だった内海OBや亀井OB、中村OBがリーダーシップを発揮され、副委員長だった野嶋OBにも助けられたので役を果たすことができた。今でも本当に感謝している。」とお話されていました。

また、トライアスロン皆生大会の思い出として「当時水泳部の部長だったが、水泳に支障が出ないように漁船からカヌーにサ

ポートしてもらった。色々な大変な事があったが、とても懐かしい思い出です。」と当時の事を振り返っておられました。

続いて、会社の事をお聞きました。

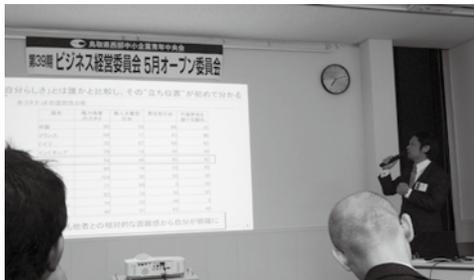
「当社は、印刷会社からスタートしたが、今では主にシステム開発をしていて、在庫管理や工程管理、顧客管理、販売管理などの企業向けアプリケーションを多く開発しています。自治体向けのアプリケーションも多く開発しており、最近では鳥取県のふるさと納税の仕組みも開発しました。さらに、鳥取大学医学部と大手医療系メーカーと共同で認知症の早期発見、予防につながるプログラムも開発・販売しています。わが社ではお客様のニーズと時代に即した開発を心がけている。」とPRされていました。

最後に現役会員へのアドバイスとして「自分が現役だった頃はすごく賑やかで集まりも良かった。会員がみな目的意識を持ってまっすぐに向かっていた気がする。皆に言える事は失敗を恐れず団結して前向きに活動して欲しい。また、鳥取県西部だけでなく、鳥取県全域、全国の動向も見据えて鳥取県西部を元気にするような活動をしてくれる事を願っている。」と熱いエールをいただきました。

変お忙しい中、取材を受けて下さった高下OB、大変有難うございました。

(記事:砂原)

ビジネス経営委員会5月オープン委員会



5月20日(火) 19時より米子コンベンションセンター5階第6会議室にて、秋里委員長率いるビジネス経営委員会が「マーケティングを用いた成長戦略」～ビジネスに役立つフレームワークの活用～をテーマにオープン委員会を開催した。関心の高さからか他委員会からも大勢の参加があった。

最初に渡辺会長の今年度は所属委員会がないので、本日はお邪魔しますという気持ちで大変楽しみにしていますとの挨拶、続いて、秋里委員長の今まで学んだものを如何に実行に導いていくかの勉強をして頂きたいとの趣旨説明があった後、ファシリテーター役の松井淳一会員の進行により

基本的なマーケティング理論の説明・コンサルタントが使う問題解決のアプローチ・フレームワークの理解の説明があった。その中には、マイケルポーターの基本戦略・STP(セグメント化・ターゲティング・ポジショニング)・4P等の専門用語も飛び交っていたが、松井会員の具体例を交えた分かりやすい解説で、私を含めたマーケティング用語に疎い会員でも理解しやすかったのではないかと思います。後半は8つのテーブルに分かれ、アンゾフの成長マトリクスを用いた売上UPの方向性を議論、発表し終了した。

最後に岩田担当副会長より、会社経営や業務遂行していく中での悩みを会員みんなでお勉強しながら話し合い解決できる、それが我が中央会の良さであり強みではないかとの閉会の挨拶で本オープン委員会の幕は閉じた。(記事:廣谷)

5月度委員会報告

絆委員会

平成26年5月9日(金) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター

議題 / ・役員会報告

- ・第2回新入会員オリエンテーションについて
- ・会員拡大について ・その他

ビジネス経営委員会

平成26年5月9日(金) 19:00～ 場所:ホテルアクシス

議題 / ・役員会報告 ・オープン委員会について

- ・会員拡大について ・その他

政治行政委員会

平成26年5月8日(木) 19:00～ 場所:鳥取県立武道館2階研修室2

議題 / ・役員会報告 ・会員拡大の件

- ・5月例会リハ(役割分担確認) ・研修旅行の件
- ・会員拡大について ・その他

広報委員会

平成26年5月7日(水) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター第6会議室

議題 / ・役員会報告 ・6月例会について ・ハンサムについて

- ・会員手帳・卒会寄稿文・委員会報告書について
- ・会員拡大について ・その他

総務委員会

平成26年5月8日(木) 19:00～ 場所:米子全日空ホテル

議題 / ・役員会報告 ・4月レクリエーション例会反省について

- ・総会卒会について ・会員拡大について ・その他

40周年記念事業委員会

平成26年5月12日(月) 19:00～ 場所:旬の旨いもんや 海王

議題 / ・役員会報告 ・40周年事業について

- ・会員拡大について ・その他

広報委員会よりご案内

6月17日に開催されます6月例会委員会発表では、ベストプレゼンターを投票にて決定いたします。

投票結果はハンサム308号にてQRコードで発表いたします。

〈新入会員〉

(広報委員会)



橋本 眞和 A型

美保テクノス㈱ 基礎技術事業所長

総合建設業

〒683-0017 米子市宗像53-9

TEL 30-4100 FAX 30-4122

(KT) 090-9124-5721

(EM) m.hashimoto@miho.co.jp

S 50.06生

〈コメント〉

この度、青年中央会に入会させて頂くことになりました美保テクノス㈱の橋本と申します。

様々な業種の代表者様、幹部の方々が多数集まる当会に入会できたことは非常に光栄に思っております。当会の活動に積極的に参加し、会員の皆様と交流を深め、当会の更なる発展の為、皆様方の力になれるように一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。

6月役員会報告

6月役員会が平成26年6月2日(月)米子コンベンションセンターにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・5月例会開催報告の件
- ・6月例会の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご確認下さい。

6月例会のご案内

と き : 平成26年6月17日(火) 19:00~21:40

と ころ : 米子コンベンションセンター 小ホール

内 容 : 第39期 委員会報告

第40期 年度方針発表(次年度会長より)

担 当 : 第39期 広報委員会

編集後記

今期最後の委員会も終え、残すは40周年記念式典！緊張感・責任感満載だ！そして同時にソワソワ感も……。来期は自分は何委員会だろう？何をやるのかな？友達できるかな？(笑)

この感覚は学生時代のクラス替えとよく似ている。若返り効果を期待しつつ、あともう一踏ん張り！！

(吉田)